

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表(討議の結果)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	1	・スペース的に窮屈に感じている子どもたちもいる ・保護者からももう少し広い部屋が理想との意見が複数あり。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1	0	・ろう当事者による指導は専門性を要するため、保護者の満足度は高い。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	0	・利用児の特徴や保護者からの要望に応じてその都度、掲示物や環境を工夫していく。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	0	・記録は職員全体が共有できるよう工夫する必要がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	0	・H30.12～保護者向けのアンケート調査実施。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	2	2	・H31.4～公表予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1	2	・H31.4～実施予定
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	1	・一年に4回以上の事業所および法人全体の研修を実施
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	・6ヶ月に一度にモニタリングを行い、保護者同意のもと個別支援計画を修正・作成する。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	0	2	3	・非当事者によるアセスメントツール(エビデンス)をろう者にそのまま適用できるかどうか検証を進めている段階
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	・週案・月案は職員同士でプログラムを検討する。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	0	・外部での活動も取り入れられている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	・長期休暇では外部に出かけて活動する等、毎回に変化を持たせてプログラムを組み立てている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	0	0	・日々の生活に必要な判断と受け答えをロールプレイングを行うこともある。

保	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・時間や送迎時、宿題内容などについて確認を行う時間について工夫したい
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	1	0	・気づいた点やフィードバックなどを話し合っている。 ・記録の取り方については今後工夫していく必要がある。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	1	0	・毎回、保護者へ活動の様子を報告し、職員間でも共有を図っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・6ヶ月に一度にモニタリングを行い、保護者同意のもと個別支援計画を修正・作成する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか	4	0	1	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	・事業所にモニタリングに来てもらい、顔を合わせて情報交換や、個人情報に留意したメールによる情報交換を行っている ・当事者職員を配置している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	0	0	・年間計画について保護者からの情報を得ている。学校からは不審者情報や天気による登校日や休業日、交通情報などについて連絡をもらっている。 ・学校のメールリストに登録している
	22	医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	2	・利用児の主治医は契約時に確認済み。 ・受け入れせず
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	1	2	・ただし、手話のできる職員がいるか、近隣に手話環境があるかどうかのリサーチは行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	0	2	・ただし、手話のできる職員がいるか、近隣に手話環境があるかどうかのリサーチは行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	1	・手話環境のある児童発達支援事業所との情報交換を行い、支援内容の改善に努めている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	・公園遊び等で交流がある日も ・保護者としては交流機会を更に設けてほしいとの声もある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	3	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	・必要に応じてメールおよび直接面談の時間を設けて保護者との情報共有を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	0	・メール等で日々の気づきや成長を報告し、それに対してアドバイスを行う場合もある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	・契約時に書類をもとに説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	1	0	・メール等で日々の気づきや成長を報告し、それに対してアドバイスを行う場合もある。 ・相談を受ける時間をもう少し増やす必要があると思われる
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	1	・年に数回、保護者向けの勉強会を実施。 ・ろう児をもつ親の会等で意見交換や交流を図っている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	2	0	・これまでに当ケースは無い。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	・会報という形は取っていないが、SNSやメール等で発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	6	1	0	・保護者からも「適切」との意見をいただいている。

	⑩⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	・必要に応じて保護者や利用児との相談時間を設けている。
	⑩⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	0	6	・土日閉所のため実施が困難
非常時等の対応	⑩⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	2	・作成および共有済み
	⑩⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	0	5	2	・H30.12～緊急時対応マニュアルに沿った非常災害の発生に備えた避難訓練を実施。
	⑩⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	0	・マニュアル作成および事業所内研修で実施予定
	⑩⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	1	3	・職員間および保護者への丁寧な説明が求められる。
	⑩⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	0	・保護者からの情報を得ているが、医師の指示書はないため今後検討したい。
	⑩⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	・事故発生に応じてヒヤリハット事例集及び防止対策に関する記録を作成。職員間で共有するとともに即時環境を整備している。

●この自己評価表は、事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。